

アフリカなど開発途上国からの研修員と一緒に田植え体験

開発途上国の人たちと一緒に田植えを行なって、日本では出回っていないアフリカのお米（ネリカ米）も試食できる、毎年人気の「田植え祭り」開催のお知らせです。

JICA 筑波では、アフリカ諸国をはじめ、開発途上国から毎年 800 名を超える研修員が来日し、日本の技術を学んでいます。来日中の研修員たちと一緒に田植えを楽しんでいただける田植え祭りを下記日程で開催いたします。

日時:5月18日(土) 10時40分～12時30分(10時20分受付開始)

場所:JICA 筑波 場内水田(つくば市高野台3-6)



昨年は総勢 199 名が参加しました。

田植え体験だけでなく、途上国からの研修員との交流を楽しみながら、地域の皆さんに日本の国際協力の現場を肌で感じていただける貴重な機会となります。

開発途上国の多くでは人口増加率が高い一方で、農業技術や農業資機材の投入が低いために、食料需要に見合った農産物の供給が追い付いていません。特にアフリカ諸国の状況は深刻で、食料問題解決のため、JICAでは様々な支援やプロジェクトを現地で行っています。現地での技術支援とともに、JICA筑波では稲作栽培方法や栽培試験方法などの研修を行い、開発途上国の食料問題解決に向けた技術移転・人材育成を実施しています。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 連携推進課 担当：篠原

TEL：029-838-1144 FAX：029-838-1776

E-mail：Shinohara.Mieko@jica.go.jp